

全国連盟通信

〒170-0013 東京都豊島区東池袋2-39-2 大住ビル402
TEL:03-3986-5401 FAX:03-3986-5403
Eメール:zenkoku@njsf.net ホームページ:http://www.njsf.net

発行責任者 石川正三

生き生きとした スポーツ連盟の活動への期待は 広がっています

今年2月に行った第33回第1回評議員会以降、スキー競技大会、卓球年齢別大会の二つの大会をもって、第32回全国スポーツ祭典は終了しました。すでに評議員会でも述べましたが、困難ななか全国スポーツ祭典成功のため奮闘された東北ブロックの皆さんに再度心から感謝申し上げます。

加盟を希望する声広がる

ところで、全国祭典の取り組みと同時進行的に、それぞれの全国種目組織および都道府県連盟のみなさんは、楽しくフェアなスポーツ活動・競技大会・行事を旺盛に取り組みつつ、その持続的な発展を支える連盟組織の拡充強化に取り組んできました。

北海道テニス協議会の活動再開、宮城県や岡山などでのテニスの活動の準備の推進、軟式野球やソフトボールでは、加盟チーム数の減少が進むなかでもスポーツ連盟の全国大会の魅力を見つけ、リーグごと加盟を希望する団体や関係者が広がり、前向きな話し合いも進められています。

また、卓球協議会では、既存の一部の卓球組織からの干渉の声があるなかでも、群馬、岐阜、長崎、熊本に新たな協議会が生み出されました。

地域のスポーツ愛好者、チーム・クラブそして自主的なリーグ・団体と協力し、自主的な活動を支援するスポーツ連盟への期待は強いものがあるのでは

ないでしょうか。社会的経済的な困難や後継者不足などの問題もこうした能動的な活動を通じて打開していこうではありませんか。

世界共通語である「スポーツ」で結ばれた オリンピック・パラリンピックに

まもなく2020東京オリンピック・パラリンピック開催まで、あと一年となります。1964年の東京五輪の開催を通じて、スポーツへの国民的関心が高まり、スポーツをやりたいという要求が画期的に広がりました。それに真に応える「スポーツは万人の権利」を掲げる民主的なスポーツ組織「新日本体育連盟・現新日本スポーツ連盟」を生み出しました。

私たちは、前回五輪以降55年を経て、スポーツ基本法を持つ国へと大きな変化の時代のなかで2020東京を迎えます。

社会から差別と貧困をなくし、誰もが「健康で文化的な暮らし」ができる社会、異文化共生の社会、核兵器と戦争のない社会をめざし、世界の共通語である「スポーツ」で結ばれた人々が一堂に会し、団結し決意を固め合うオリンピック・パラリンピックとなるよう広くスポーツ界と国民に心からよびかけます。
(新日本スポーツ連盟会長 和食昭夫)

第5回理事会報告

4月13日(土)12:00 ~ 18:00
スカイプ会議(インターネットビデオ通話)

4月13日に第33期第5回理事会(スカイプ会議)が開催されました。冒頭、和食会長は「東京五輪招致での贈賄疑惑など、オリンピックのあり方を貶めるような事態が起こっているが、スポーツ連盟の役割としては、スポーツ活動を広げる努力を。スポーツ界の中でフェアなことを広げよう」と挨拶しました。議論された主な内容は以下の通りです。

①スポーツ活動・組織局

- ・組織発展・世代継承推進のため交流会「プロGRESS」(6/22)の参加対象者は、ベテランと若手。積極的な参加を呼びかける。動画配信も検討。
- ・空白対策助成金制度の充実を図るため、助成の上限を10万円に引き上げる。
- ・2020年、沖縄県連盟の結成を目指す。
- ・第33回全国スポーツ祭典(2020年)は、統一したメダル・賞状を作成する予定。

②スポーツ権・平和運動局

- ・今年8月に予定される「反核平和スポーツのつどい」は例年とは違う企画を検討したが、多くのピースランナーが参加できるように再検討する。
- ・2020年7～8月予定の「福島～東京～広島～長崎1800km反核平和マラソン」は熱中症などの危険性が懸念されるが、実施要項のなかで暑さ対策について丁寧に表現する必要がある。資金面では他団体の協力を得られるよう運動として広げる。

③国際活動局

- ・4/26～5/1、神奈川県連盟は、韓国体育市民連帯から3名を招待。ランニング行事などで交流した。
- ・フランスFSGTからフーレというロードレース(5/26～6/5)への3名の招待あり。全国ランニングセンターの確認を得て、神奈川県連盟より派遣する。
- ・2020年の「福島～東京～広島～長崎1800km反核平

和マラソン」に、仏FSGT 5名、韓国体育市民連帯2名を招待する。招待にあたり予算を提起する。

④広報局

- ・減誌が続いている機関誌「スポーツのひろば」は、今年5～12月を普及強化期間として取り組む。多く普及した都道府県連盟に「ひろば普及賞」。
- ・各連盟の大会運営効率化のため、全国連盟ホームページで「ネットからの参加申込システム」試作版を運用中。テストできる大会を募集する。

⑤総務局

- ・5月から、全国理事の中塚久子さん(兵庫県連盟)が全国事務局スタッフとして在宅勤務。
- ・「スポーツ連盟の50年史」を新しい組織の役員、新しく役員になった方などに進呈する。
- ・2020年3月全国総会で30年以上の加盟クラブ、永年にわたり連盟に貢献した個人を表彰するよう、早めに推薦の募集をする。

⑥スポーツ科学研究所

- ・第9回研究会(3/23～24)を実施した。東京オリパラをめぐる都市再開発をテーマとしたシンポジウム、eスポーツについての自由発表などがあつた。

⑦分担金・組織検討委員会

「都道府県連盟の有無にかかわらず、全国連盟への分担金がどの地域でも同じくらいの金額になるようにする」「共同代表制を取り入れることへの論議を再開する」などの提案がされ、これらの課題については次回理事会(8月)で討議する。

最後に石川理事長から「理事会の会議だけでなく、普段からメールなどでも意見を出してほしい。分担金・組織検討委員会について、次回理事会までに事前アンケートをとりたいのでご協力を」と挨拶があり、閉会しました。

災害・復興支援活動について

北海道地震災害への義援金は、おかげさまで71万5036円のご協力をいただきました。ありがとうございます。お寄せいただいた義援金は、被災された会員や被災の復興支援に全額活用しました。

北海道地震 義援金報告

- ・被害状況 6名(家屋損傷)
- ・新日本スポーツ連盟全国連盟 受付
16,507円(2018.10.4送金) ※義援金呼びかけ以前に届いた分
569,298円(2019.3.13送金)
- ・北海道での義援金
スキー協 39,700円 労山 44,790円
ランニング 10,450円 卓球 34,291円 総計 715,036円

第32回全国スポーツ祭典のまとめ



東北発 広げよう スポーツの輪

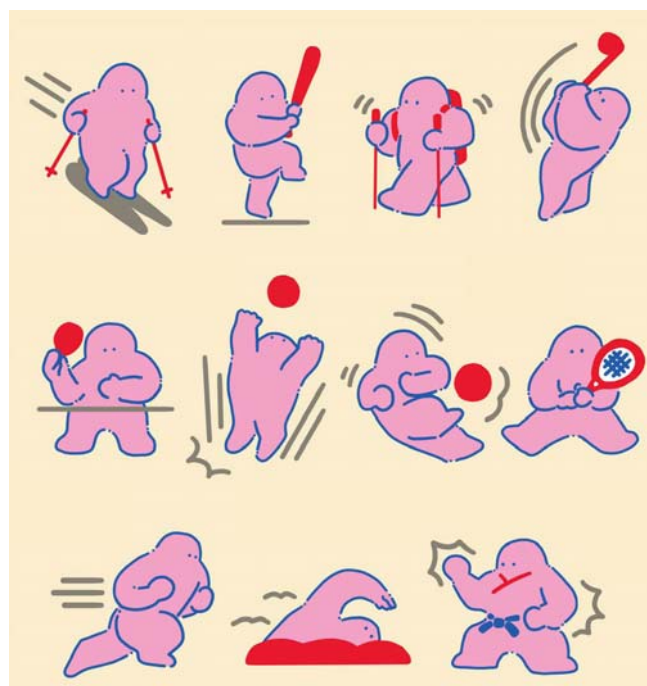
第32回全国スポーツ祭典は、2019年3月31日の卓球大会年代別の部をもって全日程を終了しました。東北ブロック主管としては、2004年開催の第25回大会に次いで2度目の開催となりました。東日本大震災から今年で8年経過しました。復興は道半ばですが、過去を顧みるよりも未来に向けて行動を起こす姿が着目されてきております。

今回の祭典では復興支援グッズは用意しませんでした。東北ブロックで開催された種目はそれほど多くはありませんでしたが、東北にお越し頂いた方々にスポーツを通じて東北の元気な姿をお見せしたい。この強い思いこそが実行委員会共通の認識であったためです。

6月16日の宮城県栗駒山登山祭典から始まり、ウォーキング祭典(宮城県松島海岸)・テニス大会(仙台市)・シニアサッカー大会(岩手県花巻市)・軟式野球大会(岩手県北上市/花巻市)・卓球一般の部(岩手県奥州市)・ソフトボール大会(福島県伊達市)の7種目が東北で開催され、成功を収めることができました。

東北での活動の広がりや 前進面

- ①宮城県テニス協議会が発足された。会員は現在1名であるが、今後も継続的に大会を開催し、全国テニス協議会と話し合いを進めながら組織拡大に繋げたい。
- ②岩手にサッカー協議会は現存しないが、本祭典では地元チームが3チーム参加し優秀な成績を収めた。岩手県連盟に加盟頂く契機としたい。
- ③軟式野球で山形チームが準優勝を果たした。都道府県連盟としては空白の青森・山形から参加するチームがあったのは大きな収穫である。この縁を大切に、空白組織の立ち上げを図りたい。
- ④ソフトボールでは宮城から1チーム、福島からは



東北発 広げよう スポーツの輪 第32回全国スポーツ祭典2018

4チーム参加した。福島県(特に郡山市)は朝野球が盛んであり、現在空白県となっている福島に県連盟を立ち上げるのは不可能ではない。東北ブロック拡大の具現化に向けて準備を進めてゆきたい。

上記4点に関して、第32回全国スポーツ祭典が東北の地で開催されたことが、組織に前進をもたらしました。東北からスポーツの輪が広がった祭典だったと胸を張って言えるでしょう。

スポーツの絆を深めよう

空手演武会が初めて行われた記念すべき祭典となりました。また、バスケットボール普及活動も加速度を増してゆくとおもいます。すべての種目が成功のうちに終えられたことは祭典実行委員会として感激の極みです。本祭典で生まれたスポーツの絆が永年続くことを切に願います。

おわりに、平成最後の祭典が東北の地で開催された事を誇りに思います。令和の時代に於いても我々は草の根の活動を通じて、フェアプレー・スポーツは国民の権利・スポーツは平和と共に、のスローガンを掲げ仲間の輪を拡げて参りましょう。(第32回全国スポーツ祭典実行委員長 柿崎 勝)



2月28日～3月11日、全国勤労者スキー協議会はF S G T(フランス勤労者スポーツ・体操連盟)のスキー代表団(ベルナル・デルガド、アルノ・ベルティエ、グザビエ・ギシュナル氏の男性3名)を招待し、新潟県上越市のキューピットバレイスキー場で行われたイベント「全国スキー協50周年ウィーク」で交流しました。

フランス代表団は、3月2～3日の「第45回全国スキー・スノーボード競技大会」に出場し、グザビエ・ギシュナルさんが男子2部で優勝。その後の交流会ではF S G Tからプレゼントされたワインで健闘を讃えあい、和やかで楽しい国際交流の場になりました。また、3月4日の「デュアルスラローム大会」では、チーム・F S G Tが見事優勝しました。

3月5～6日は金沢市を訪れ、石川スキー協・石川県連盟と交流。5日夜の「歓迎夕食交流会」では、通訳に金沢美術工芸大学院生の協力を得て会話が弾

みました。冒頭、森尾嘉昭さん(石川県連盟副理事長)が「ボンソワール…」とフランス語で歓迎し日本酒で乾杯。下戸のデルガドさんは、お酌されるたびにグイッと飲み干して「カンペキ！」と。林昶さん(石川スキー協会長)が金箔の小物入れを贈り、記念品を交換しました。

6日は、金沢市長を表敬訪問。市庁舎前広場の電光掲示板には、歓迎の意を表す日仏の文字が大きく映し出されていました。

その後、前田土佐守家資料館と長町武家屋敷跡を巡り、発掘・復元された玉泉院丸庭園を眺めて「お茶の世界」を体験。2人の息子に「おもちゃの刀」を買ったベルティエさんは「カンペキ！」を連発。一行は、お土産を手に金沢を離れました。

その後、キューピットバレイスキー場に戻り、指導員研修会や大運動会などに参加。日本のスキーや文化を十分に堪能して、代表団は帰国しました。

国際交流活動一覧表

	日本	韓国	フランス
2019	①全国スキー協 創立50周年ウィーク 2/28-3/11 仏3名招待 ②神奈川県連盟 月例マラソン・横浜駅伝 4/26-5/1 韓3名招待 ③原水協・青年リレー交流(韓国)7～8月	非核・平和の東アジアのため の日韓国際フォーラム (日本原水協主催) 5/29-6/2 代表団派遣	フーレ・コショワーズ (ロードレース) 5/26-6/5 代表団派遣
2020	①反核平和マラソン 7～8月 仏・韓招待 ②原水協・青年リレー交流(未定)	平和マラソン (未定)	世界ベテラン卓球選手権 6/8-14
2021	国際シンポジウム(未定)		

2019 国民平和大行進 一歩でも二歩でも一緒に



今年も、国民平和大行進の季節がやってきました。日本全国津々浦々から、国民平和大行進は、広島へ長崎へと核兵器廃絶と平和を訴えて、パレードが行われます。

東京～広島コースでは、毎年5月6日の出発式から8月4日の広島の集結集会まで、スポーツ連盟のスローガンである「スポーツは平和とともに」の桃太郎旗と参加された方々の声を書き綴ったノートが毎日々々引き継がれていきます。

2017年7月に、国連で「核兵器禁止条約」が、122カ国の圧倒的な支持で採択され、その後、19の国が条約に批准し、69の国が条約に署名をしています。50番目の国が国連に批准の手続きをすれば、その90日後には条約が発効します。こともあろうに、唯一の

被爆国である日本の政府が、この核兵器禁止条約に署名をしません。なんとしても、草の根の運動を広げて、日本政府にこの条約を批准させなければなりません。今回の国民平和大行進では、大いにスポーツ愛好者の反核平和の思いを広げてゆきましょう。

また、この国民平和大行進では、韓国体育市民連帯から、地球上から核兵器がなくなることを求めて参加されます。また、日本勤労者山岳連盟(労山)副会長の藤元理津子さんが、広島から長崎まで通し行進を行います。国民平和大行進が、文字通り、たくさんの国民の参加によって、世論を動かす力になることを願って、今年もたくさんの方々の参加をお願いします。

ちなみに、各県境、区境の旗の引き渡しセレモニーを盛り上げていただくように、日程の調整をお願い致します。引き渡し3点セットは、赤いリュックと「スポーツは平和とともに」の旗と旗用ポールとなっています。広島まで無事に引き渡されることを期待しています。

(新日本スポーツ連盟スポーツ権平和運動局)

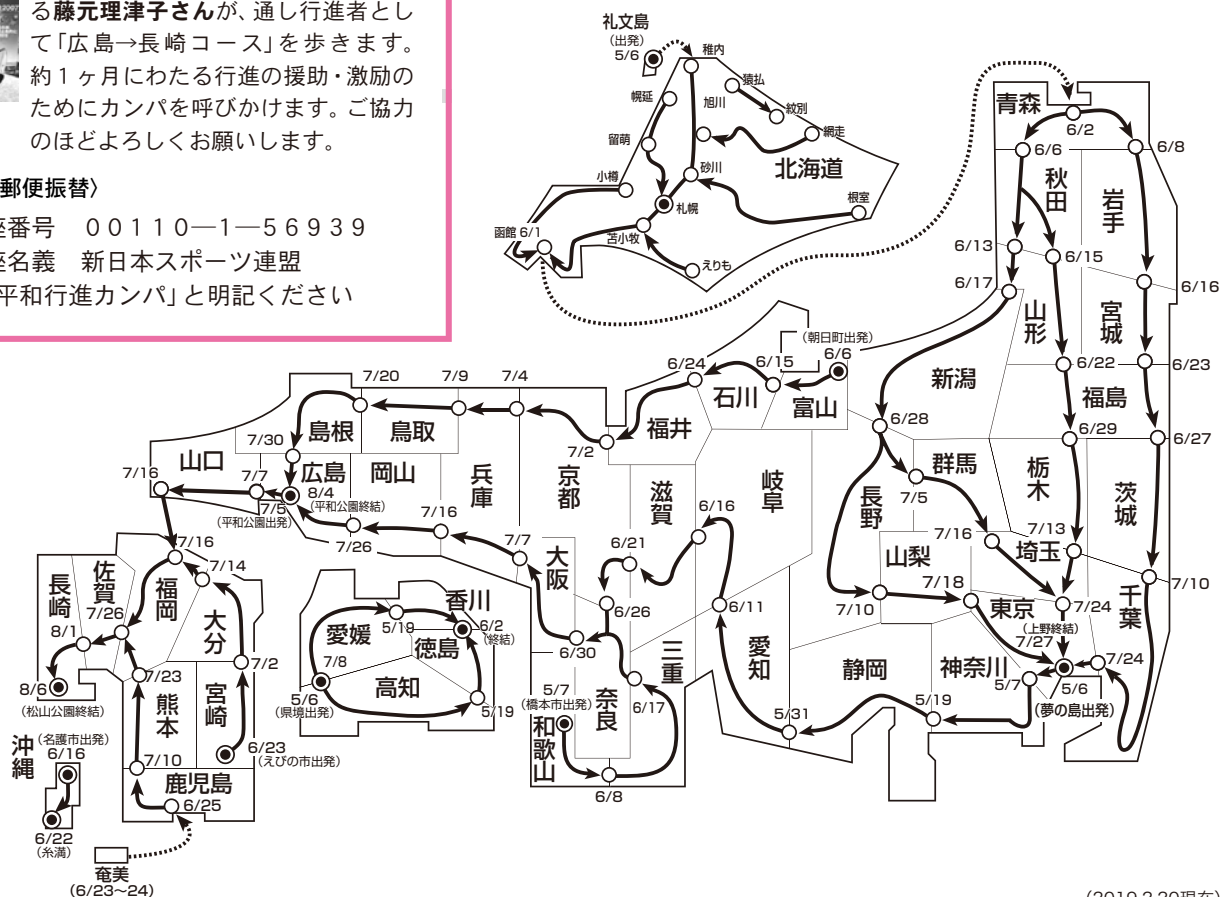
カンパのお願い



日本勤労者山岳連盟(労山)に所属する藤元理津子さんが、通し行進者として「広島→長崎コース」を歩きます。約1ヶ月にわたる行進の援助・激励のためにカンパを呼びかけます。ご協力のほどよろしくお願いします。

送金先(郵便振替)

口座番号 00110-1-56939
 口座名義 新日本スポーツ連盟
 *「平和行進カンパ」と明記ください





各種目の 前進面や課題を共有

早くも昨年の総会から1年半を迎えようとしています。スポーツ活動・組織局では日々のスポーツ活動を通じて組織力強化、組織拡大を進める部門です。その一環として種目懇談会の実施の計画をしていましたが、前期は実現しませんでした。GW前に未実施組織へ日程の調査、調整をお願いするアンケートを送りこれから順次行っていきます。それぞれの活動の中での前進面の共有化や問題点や課題について意見交換し、スポーツ連盟の運動の発展につながるような懇談としたいと考えています。

また空白組織対策事業助成制度の一層の活用で新たな動きを作るよう促すとともに、助成金額上限を

引き上げた制度も整備し、中長期的な展望で、新たな組織確立に向けた活動を支援していきます。

既に告知しています通り、6月22日（土）に組織交流会「プロGRESS」が開催されます。この交流会にはぜひ次世代を担っていく人材を各組織から送っていただき、参加者同士の交流の輪が広がり、それぞれの組織に帰って活動の原動力になることを願っています。

2020年の第33回全国スポーツ祭典は関東ブロックで開催されます。東京オリンピック・パラリンピック開催の年でもあり会場確保に困難が生じていますが、関東以外の会場確保も進めるなど柔軟な対応で準備を進めていきます。第33回全国スポーツ祭典実行委員会事務局会議が5月9日に開かれ、実行委員長に小林章子さん（東京都連盟理事長）、事務局長に宮内泰明さん（東京都連盟事務局長）が選任されました。

第33回

全国スポーツ祭典スローガンを募集します

皆さん自身の発展への原動力となり、みんなの心をつなぐスローガンを下記の要領で募集します。クラブで、種目・地域で、または個人で大いに検討され、応募されるようお願いいたします。なお、採用の場合には、賞品を授与します。

※参考 これまでの祭典での主なスローガン

いつでも、どこでも、だれでもがスポーツを（2回・64年 東京）

スポーツ、きみが主人公（13回・80年 東京）

スポーツは平和とともに（14回・82年 東京）

2012年（全国） 深めよう絆！ スポーツは生きる力

2014年（東海） スポーツ 平和と絆 フェアプレイ

2016年（関西） 好きやねん！ スポーツの絆と平和！

2018年（東北） 東北発 広げよう スポーツの輪

1、スローガン趣旨 2020年はオリンピック・パラリンピックも開催されます。

スポーツのちから、魅力を発信しましょう。

さらに創造、発展させ全組織が一体となって祭典を盛り上げる。

2、募集期間 8月23日必着とします。

3、採用と扱い スローガンに採用となった作品の製作者に1万円を贈呈します。

決定は2020年2月の全国評議員会の会場にて

4、申込方法 メール：zenkoku@njsf.net（全国連盟事務所）FAX：03-3986-5403

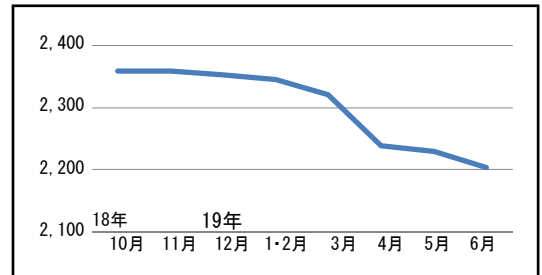


多く普及した都道府県連盟にはひろば普及賞

残念ながら2019年1・2月号から140部のマイナスとなってしまいました。読者の高齢化や加盟チームの減少などにより減誌になっている傾向がありますが、ぜひ新しいスタッフや協力者に勧めていただけたらと思います。5月～12月は「ひろば」普及強化期間として、多く普及してくれた都道府県連盟には、ひろば普及賞を贈ります。ご協力のほどよろしくお願いします。

6月号は
自転車特集！

最近のひろば状況



大会運営効率化のために「インターネットからの参加申込システム」を運用しませんか？

各種目の大会で、申込をハガキ・FAXで受付して、申込書の内容（氏名・住所・連絡先などの参加者情報）をパソコンに入力し、組み合わせやプログラム作成をしているところが多いと思います。

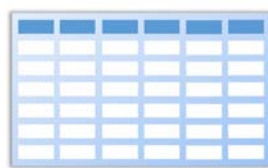
全国連盟では、各種目組織の大会運営効率化のために「インターネット（スマホ）からの参加申込システム」の運用と普及を検討しています。すでに、全国連盟ホーム

ページで試作版を運用中で、現在、実際の大会でテストしてもらえるところを募集しています。このシステムを活用すれば、参加者がスマホから入力して申し込んだ内容が、直接エクセル形式のファイルに自動で書き込まれ、PC打ち込みをしなくても申込者一覧を作成することができます。関心のある方は、全国事務局までお問い合わせください。

参加者が
PCやスマホで申込

申込内容が自動で
エクセルデータに書き込まれる

そのままデータを
使用してプログラム作成



新日本スポーツ連盟附属スポーツ科学研究所 年報

「現代スポーツ研究」Vol. 3

が発行されました

主な内容

<特集> 第7回研究会・シンポジウム

大沼義彦(日本女子大学)「オリンピック・レガシーの配布(delivery)と実相」
金子史弥(筑波大学)「2012年ロンドンオリ・パラの<レガシー>」

<研究ノート> 少年野球用ゴムボール誕生史の諸問題 功刀俊雄(奈良女子大学)

<実践報告> 地域で知的障害者がスポーツ活動を継続すること 川田幸生(一橋大学)

お問い合わせはスポーツ科学研究所まで MAIL: science@njsf.net

第33期全国会議及び主要事業予定一覧

(2019年5月～2020年3月)

全国会議・事業		都道府県連盟・全国種目組織
5月18～19日		全国選抜軟式野球大会(静岡)
19日		滋賀県連盟総会
25～26日		全国交流ウォーク
26日	仏フーレ・コーショワーズ国際交流(6/5まで)	
30日	非核平和の東アジアのための日韓国際フォーラム(6/1まで)	
6月 8日		神奈川県連盟総会、全国スキー協創立50周年記念祝賀会
8～9日		全国スキー協代表者会議
9日		平和マラソン(愛知)
10日	「スポーツのひろば」7-8月号発行	
15日		岩手県連盟10周年祝賀会、平和マラソン(富山・石川)
16日		三重県連盟総会
22日	プロGRESS(組織発展・世代継承推進のため交流会)	
23日		愛知県連盟クラブ代表者会議、兵庫県連盟種目代表者会議
7月 7日		平和マラソン(三重・大阪)
13日		平和マラソン(東京)、和歌山県連盟総会
13～14日		平和マラソン(神奈川)
14日		大阪府連盟総会
21日		平和マラソン(千葉)
28日		平和マラソン(北九州)
8月 1日	「スポーツのひろば」9月号発行	
3日		平和大好き卓球大会(広島)
4日		平和マラソン(愛知)
3～6日	反核平和スポーツのつどいin広島	
6～8日		平和マラソン(広島～長崎)
10日		全国バドミントン大会団体戦
24～25日	33期第6回理事会	
25日		平和マラソン(宮城)
9月 2日	「スポーツのひろば」10月号発行	
7～8日		東海ブロックセミナー(三重)
8日		平和マラソン(北海道)
28～29日		東日本ソフトボール大会(茨城)
10月 1日		「スポーツのひろば」11月号発行
27日		サッカー FinalCup(神奈川)
11月 1日	「スポーツのひろば」12月号発行	
2～3日		西日本ソフトボール大会(徳島)
9～10日		全国軟式野球大会(岡山)、全国6人制男女バレーボール大会(愛知)
16～17日		全国シニアサッカー大会(大阪)
23～24日		全国テニス大会(愛知)
12月 8日	「スポーツのひろば」12月号発行	平和マラソン(愛知)
7～8日	33期第7回理事会	全国ミックスバレーボール大会(愛知)
9日	「スポーツのひろば」12月号発行	
14～15日		全国卓球選手権大会 一般の部(広島)
2020年		
1月		日本縦断新春マラソン
2月 8～9日	33期第2回評議員会・第8回理事会	
22～23日		全国卓球選手権大会 年代別の部(三重)
3月14～15日	第34回定期全国総会	

*追加・訂正があれば全国事務局まで随時ご連絡ください。